

2003  
四季のコンサートだより

2003年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430-0904浜松市中沢町44-11

電話連絡 (053)473-3579(原)

<http://www6.plala.or.jp/hamatomo/>

## 20周年おめでとうございます

ピアニスト 仲道郁代

浜松音楽友の会、20周年おめでとうございます。これまで私は何度か友の会の「四季のコンサート」に出演させていただきました。その中でも20周年記念の年であるこの春の公演は私自身にとりましても感慨深いものでした。20年という瞬間(とき)の重さとスタッフの方々のご努力、情熱を思いますと、20年というのは、決してあっという間のものではなかったのだと思います。

浜松は私にとって、心の中の一番大事なところにある街です。父の実家、母の実家があり、多くの親戚が住み、子供の頃の恩師、友達たちがいる、私を形成してくれた場所なのです。

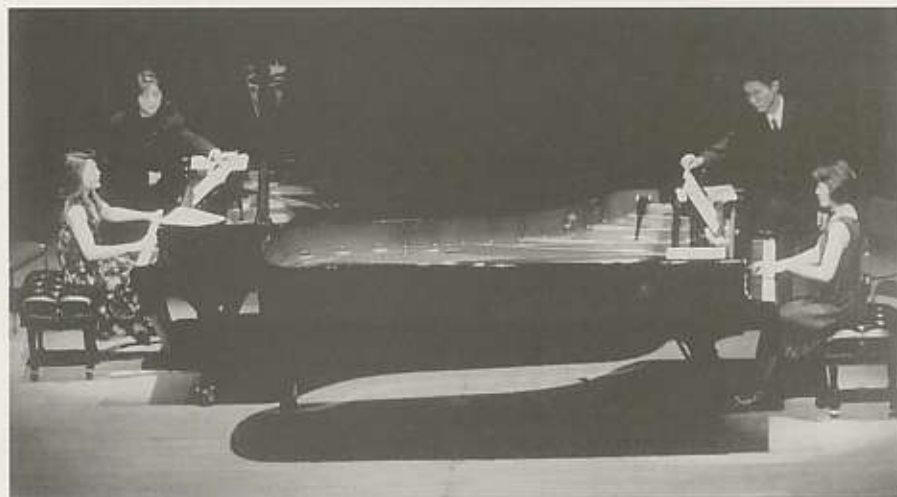
私のピアノ人生もここ浜松で始まりました。4歳の時、鍛冶町のヤマハのオルガン教室に通いはじめ、その後、金原美津子先生についてピアノを始めました。人のご縁は不思議なもので、ヤマハの方に金原先生をご紹介いただかなかっただら、私の人生もまた違ったものになっていたでしょう。駅の南側に住んでいた私は、高林の先生のお宅までバスを乗り継いで伺うのですが、当時は“なめだの開かずの踏切”というのがありまして、小学生としましては、長い時間をかけて通ったものでした。今思えば、生徒さんも、そのお母様たちも、みなさんとても熱心で、発表会などではいろいろなお手伝いを自主的になさっていました。先生の熱意、生徒さんの熱意、そういったものが活気あふれる状況を作っていて、そんな中で、おのずと私も一生懸命になったのだと思います。

浜松には、昔から“やらまいか”精神があるということは、最近知ったことなのですが、これは多分、男の方たちだけのものではなくてここに暮らす女性達、子供達にも通じているのではないのでしょうか。20年前、浜松音楽友の会が女性たちの手で始動した時にも、凄いなあと感嘆したものでした。そのメンバーには、ピアノ仲間や、そのお母様、先生たちがいらして、小学校時代のあの楽しかった生き生きとした日々がそのまま脈々と続いてきたのです。父の仕事の関係で浜松を離れている事の多かった私たち家族でしたが、私の母にもお声をかけていただいて、母は嬉々として、お手伝いさせていただいておりました。

専業主婦として、妹や私を育て、家のことに従事していた母にとって、友の会でお手伝いさせていただくことは、多分ほとんど初めての自分の時間、自分のしたいことの時間、社会と接点を持った時間だったのだと思います。今、当時の母とほとんど同じ年になって、この時の母がより身近に感じられるようになりました。母は、6年前に亡くなりましたが、あの春の、友の会のコンサート時には、きっと会場に来ていたと思います。

20年経ったということは、皆同じく20年、年を経たということで、“年とっちゃった”と思ってしまうがちですが、もしかしたら、人間、今以上に若い時はないのではないのでしょうか。これまでの時間は過ぎてしまったもので、それは記憶や記録にはあるけれど生きて体験している今こそが、一番若い時だと思うのです。今、笑って泣いて、人生にこれからあるのは未来だけ。

20年の記憶と歴史を経た浜松音楽友の会が、いつまでも、今を生きる若い会であり、浜松の音楽文化の未来に向かってますますのご発展を迎えられることを、心よりお祈りいたしております。



20周年春・妹の祐子さんとのデュオ

## 20周年記念コンサートに寄せて



フルーティスト 工藤重典

浜松音楽友の会の皆様に、またこの会を支えてこられた方々にひとことお祝いの言葉を申し述べたいと思います。

このたびは、友の会20周年を迎えられ誠にありがとうございます。

20年間という長い間、どれほど地域の音楽文化向上のために役立ってきたことでしょうか。私も縁あって数度にわたり出演させていただきました。この度は、ウィーンの音楽仲間と楽しいコンサートをやらせていただきました。今回はフルートを入れた室内楽でしたが、室内楽を演奏できる喜びとは、ちょうど気のあった友人達とおしゃべりをしてるのと同じで、話題によっては大声を張り上げたり、興奮したりもしますが、また、とりとめのないことで盛り上がりもします。そんな和気藹々の雰囲気音楽で伝えるのが室内楽です。ハイドンやモーツァルトをお国物の人達とやる意義は、私にとっても大きく、楽しんでいただけたのならうれしく思います。

その昔、音楽会は王宮においても大事な行事でした。モーツァルトは新作オペラが成功しないと給料がもらえ

ませんでした。フリードリヒ大王は大金をかけて、ヨーロッパ中の優秀な音楽家を集め、すばらしいオーケストラをポツダムに作りました。戦略の大家として有名なプロイセン王の一面です。また、ヒンデミットのように音楽の内容が感動的すぎるとの理由でゲッベルスから演奏停止命令を出された作曲家もいました。ナチスが行っていた一党独裁の士気に、彼の音楽は悪影響を与えられたからです。なんとも信じられない話ですが……。

ヨーロッパにおいて音楽とは、人々の生活のみならず、政治、経済にも影響を与えてきた芸術といえるでしょう。そして、日本においては20世紀に大きく花開いたこの芸術音楽は、これから私達に大きな影響を与えていくと思われま。現在、日本では経済の低迷、ゆがみがかかった社会、また生きていく意欲を失いかけている人々が増えつつあると聞きます。そういう社会に精神面での豊かさと活力を与えてくれるのが文化だと思えます。

浜松音楽友の会がこれからも、新しい未来に向かって、浜松市民にとって、よりなくてはならない存在になられることを望んでいます。

あらためて敬服の念と感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

20周年おめでとうございます！

## viva 浜松音楽友の会

もとヤング友の会会員 稲川 修

先ず以って、創立20周年おめでとうございます。40周年の時にも是非おめでとうを言わせてください。何で40周年かと申しますと、自分で歩いて行く事が出来るタイムリミットかと思うからです。たまたま会場が近い事あって何時も定刻5分前になると家内と早い遅いの喧嘩をしながら駆け付けて20年が経ちました。他の事に付いてはかなり好みが変わりますので、お互いに勝手にやっていますけれど、音楽に関しては、多分高校時代まで戻っても、(厚かましく戻りすぎかとも思いますが) 好み

ているような気が致しますので、仲良くホールにやっております。

駄弁を弄していて申し訳ありません。足を運ぶだけの私どもにはあつという間の20年と言う訳ですが、ボランティアでここまで会を支えてきて下さった皆様には大変な20年であったと思います。至福の時を与えて下さって本当に有り難うございました。これからも宜しくお願い致します。

### ご挨拶

浜松音楽友の会「四季のコンサート」は、会員の皆様の多大なご支持のお陰で今年20年目を迎えることが出来ました。ありがとうございます。

この20年間、国内外の一流の演奏家による数多くのコンサートで、会員の皆様と至福のひとときを共有できましたことを大変嬉しく思っております。また混沌

とした現代社会において、音楽を通して皆様に心の安らぎをお届けできますことを幸いに思います。

これからも楽しくまた新しい発想で、皆様のご期待に応えられる魅力的な「四季折々のコンサート」を企画していきたいと思っております。今後とも会員の皆様の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

友の会スタッフ一同

# 浜松音楽友の会 《四季のコンサート》20年の歩み

1	1984年	春 秋	弘中孝(ピアノ)・久保陽子(ヴァイオリン)のタベ 東敦子ソプラノリサイタル	夏 冬	野島稔ピアノリサイタル 吉原すみれ打楽器リサイタル
2	1985年	春 秋	今井信子ヴァイオリンリサイタル ミシェル・ペロフピアノリサイタル	夏 冬	清水和音(ピアノ)・上村昇(チェロ)のタベ 室内楽のタベ 東京カンマーアカデミー
3	1986年	春 秋	花房晴実ピアノリサイタル 桐朋学園オーケストラ演奏会	夏 冬	堤 剛・黒沼ユリ子・関晴子室内楽のタベ 須川展也(サクソフォン)と木管五重奏のタベ
4	1987年	春 秋	歌のタベ 大島洋子・青山智英子・黒田晋也・大島幾雄 岡田博美ピアノリサイタル	夏 冬	安倍圭子マリンバリサイタル 佐藤陽子ヴァイオリンリサイタル
5	1988年	春 秋	宮本文昭(オーボエ)・篠崎史子(ハーブ)のタベ ギャリック・オールソンピアノリサイタル	夏 冬	佐藤しのぶソプラノリサイタル 藤原真理チェロリサイタル
6	1989年	春 秋	千住真理子ヴァイオリンリサイタル 小林道夫(チェンバロ)と弦楽アンサンブルのタベ	夏 冬	木村俊光バリトンリサイタル 仲道郁代ピアノリサイタル
7	1990年	春 秋	野島稔(ピアノ)とナーダ(弦楽四重奏) リュウボフ・チモフェーエワピアノリサイタル	夏 冬	東京トロンボーン四重奏団 堀米ゆず子ヴァイオリンリサイタル
8	1991年	春 秋	日本音楽のタベ(横山勝也 尺八他) 松本美和子ソプラノリサイタル	夏 冬	清水和音ピアノリサイタル 前橋汀子ヴァイオリンリサイタル
9	1992年	春 秋	工藤重典(フルート)と吉野直子(ハーブ)のタベ 山下和仁ギターリサイタル	夏 冬	小山実雅恵ピアノリサイタル 林康子ソプラノリサイタル
10	1993年	春 秋	小林一男テノールリサイタル 漆原朝子ヴァイオリンリサイタル	夏 冬	野島稔ピアノリサイタル 田宮堅二(トランペット)とジャパン・プラス・ソロイスト
特別コンサート 桐朋学園オーケストラ演奏会					
11	1994年	春 秋	御喜美枝アコーディオンリサイタル 牧野正人バリトンリサイタル	夏 冬	桐五重奏団ピアノクインテットのタベ オクサナ・ヤブロンスカヤピアノリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅠ 仲道祐子ピアノリサイタル					
12	1995年	春 秋	アン・マリー・マクダーモットピアノリサイタル 豊田喜代美ソプラノリサイタル	夏 冬	トリオ・ディ・トリノ室内楽のタベ 山口多嘉子と仲間たちによる打楽器アンサンブル
浜松出身の演奏家シリーズⅡ 森下幸路ヴァイオリンリサイタル					
13	1996年	春 秋	相山久美ヴァイオリンリサイタル 林峰男チェロリサイタル	夏 冬	伊原直子メゾソプラノリサイタル 許 忠(シュー・ツオン)ピアノリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅢ 倉田寛トロンボーンリサイタル					
14	1997年	春 秋	ゲヴァントハウス弦楽四重奏団リサイタル 大倉由紀枝(ソプラノ)福井敬(テノール)ジョイント・リサイタル	夏 冬	バスカル・ゴダールピアノリサイタル 北村源三とその仲間たちによるトランペッターリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅣ 太田茉莉ピアノリサイタル					
15	1998年	春 秋	安倍圭子マリンバリサイタル 15周年記念 二期会合唱団演奏会 大島洋子(ソプラノ) 大島幾雄(バリトン)	夏 冬	堀江真理子とバリの仲間たち 古楽器アンサンブル アントネッロ演奏会
浜松出身の演奏家シリーズⅤ 石井克典ピアノリサイタル					
16	1999年	春 秋	ブラシモ・ウィーン金管五重奏団演奏会 相沢史江子ピアノリサイタル	夏 冬	鮫島有美子ソプラノリサイタル 安永徹(ヴァイオリン)市野あゆみ(ピアノ)デュオリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅥ 竹村淳司ホルンリサイタル					
17	2000年	春 秋	ダンカン・マクティア(コントラバス) & 井上祐子(ヴィオラ)デュオリサイタル 吉野直子(ハーブ)と仲間たち 佐久間由美子(フルート) 矢部達哉(ヴァイオリン) 川本嘉子(ヴィオラ) 藤森亮一(チェロ)	夏 冬	田部京子ピアノリサイタル 宮本文昭オーボエリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅦ 山田美津子ソプラノリサイタル					
18	2001年	春 秋	トルヴェール・クワルテットコンサート バスカル・ゴダールピアノリサイタル	夏 冬	高橋薫子ソプラノリサイタル 加藤知子(ヴァイオリン)鈴木大介(ギター)デュオリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅧ 奥村友美ピアノリサイタル					
19	2002年	春 秋	戸田弥生ヴァイオリンリサイタル アレクサンドル・ナウメンコバスリサイタル	夏 冬	熊本マリピアノリサイタル 徳永二男(ヴァイオリン)と仲間たち 小林美恵(ヴァイオリン) 篠崎友美(ヴィオラ) 古川展生(チェロ) 伊藤恵(ピアノ)
浜松出身の演奏家シリーズⅨ フルーツアンサンブル リンクス					
20	2003年	春 秋	20周年記念 仲道郁代&祐子ピアノデュオリサイタル 20周年記念 工藤重典(フルート)とウィーンフィルの仲間たち ライナー・ホーネック(ヴァイオリン) フランソワーズ・グローベン(チェロ) クサヴィエ・ドゥ・メストレ(ハーブ)	夏 冬	20周年記念 堤 剛チェロリサイタル 20周年記念 大岩千穂ソプラノリサイタル
浜松出身の演奏家シリーズⅩ 福井健太サクソフォンリサイタル					

## 20年間の大いなるコミュニケーション

音楽評論家 真嶋雄大

思えば不思議なご縁である。或るピアニストのことで事務局に電話を入れたのがそもそものきっかけだった。桜も短い盛りを過ぎた昨年4月下旬だと記憶している。

その直前、「音楽の友」という雑誌の特集〈21世紀のピアニストたち〉で、30人余の将来性溢れるピアニストたちが取り上げられ、私も8人を紹介した中にそのアレクサンダー・ガブリリユクがいた。お奨めピアニストとして書いた責任もあって、活動の動向にアンテナを巡らせるのは当然である。そんな折ガブリリユクが来日公演をするという情報を得た。それが浜松音楽友の会のホームページだった。よくよく拝見すると、どうも民間の任意団体であるらしい。音楽鑑賞を目的に既に20年という大変な蓄積があるらしい。また通常考えられない安価で演奏会が楽しめるらしい。さらに登場した音楽家の質の高さといったら……。その上どうも会独自で企画・招聘しているフシがある。この会は一体？様々な疑惑(?)が沸いてはきたが意を決し、恐る恐るブッシュ・ボタンに指を伸ばした。電話というやつはいつだって突然である。その失礼を省みず主旨を告げると、実に丁寧に應對してくれた。「音楽の友」の記事を読んで載っていたことも幸いであった。ただの「追っかけ」ではないことを理解して載いてホッと胸を撫で下ろすと同時に話が段々進展

し、結果曲目解説をお引き受けすることになった。世の中出会いがどこに存在するか本当に判らない。

その後家内共々浜松にお邪魔する機会を得、代表を初めとするスタッフの皆様にお会いすることができた。その演奏会前の活気や情熱、手馴れた中にも継続してこられた原動力、つまり大いなるコミュニケーションを感じることができた。演奏家と会の、そして会員同士の出会い、交流、コミュニケーション、そこに会の独自性が連続と発展してきたのだろう。

私は山梨の甲府を拠点にしている。いずれ近いうち富士川を下り、再び皆様にお目にかかりたいと願っている。

### 【プロフィール】

真嶋雄大 (まじま・ゆうだい)

1953年甲府市生まれ。5歳からピアノを習い、中学から作曲を学ぶ。高校では合唱指揮者を務めると同時に高校オーケストラに管弦楽曲を提供、73年には〈ソプラノと和洋合奏のための変容〉を発表、自ら指揮して注目される。1991年より地元紙等で執筆活動を開始、またFM放送でクラシック番組のDJを務めた。ピアノや室内楽を主な核としながら、「音楽の友」を中心に、「ムジカノーヴァ」、「カンパネラ」等の各誌で連載、執筆活動を続けている。共著に「ピアノとピアニスト2003」、「弦と管打楽器2003年」(共に音楽乃友社)。

## これからのコンサート予定

冬

大岩千穂 ソプラノリサイタル

12月11日(木) 6:45 PM

浜松で行われている「国際オペラコンクール・イン・静岡」の第1回で最高位を受賞した大岩千穂は、その後イタリアのミラノを拠点として、世界各国のオペラハウスに活躍の場を広げて各地で絶賛されています。「カルメン」のミカエラや「ラ・ボエーム」のミミ、また「椿姫」「蝶々夫人」のタイトルロールなど、着々とレパートリーを増やし音楽性と表現力あふれるリリックソプラノとして世界中で注目されています。久しぶりの日本での公演を捕らえた今回のリサイタルです。どうぞお聴き逃がしなさいませぬように！



### プログラム

#### 1部：世界の名曲

グリーグ／ソルヴェーグの歌  
ラヴェル／カディッシュ  
シャルバンティエ／愛の小路 他

#### 2部：ブッチーニ

「マノン・レスコー」より

華やかに着飾っても  
ひとり寂しく捨てられて

「つばめ」より  
なんと美しい夢

「蝶々夫人」より  
ある晴れた日に

「トスカ」より  
歌に生き、恋に生き 他

2004年 四季のコンサート 予定

**春** 新ヴィヴァルディ合奏団 4月9日(金)

指揮者の早川正昭とトップソリスト達によって結成され、バロック時代のオリジナル奏法で演奏する日本で最も活躍している合奏団。浜松音楽友の会創立21年目の「四季のコンサート」のために、ヴィヴァルディの「四季」を含む人気のプログラムを演奏していただくことになりました。バロック音楽の神髄をご堪能ください。

**夏** アレクサンダー・ガブリリユク ピアノリサイタル 6月13日(日)

皆様待望の演奏会です。事故のため延期されていたアレクサンダー・ガブリリユクの演奏会がついに実現します。第4回浜松国際ピアノコンクールにおいて弱冠16歳にして審査員満場一致で1位を受賞し、彗星のごとく現れた若き天才ピアニスト。より内面性を深め成長した彼の演奏に今から期待が高まっています。

**秋** 佐藤美枝子 ソプラノリサイタル 10月14日(木)

1998年チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門第1位という栄冠に輝いたソプラノの佐藤美枝子の、その後の華々しい活躍は皆様ご承知のとおりです。オペラやコンサートでの彼女の華やかで正確な技巧から紡がれる歌の世界は感動的で、素晴らしいタベとなることでしょう。待ちに待った期待のコンサートです。

**冬** トウキョウ・ウィンズ 木管アンサンブル (木管五重奏) 12月予定

クラリネットの赤坂達三と、フルートの岩佐和弘をはじめ、オーボエ、ファゴット、ホルンの日本管楽器界を担う5人の木管アンサンブル。これ迄の木管五重奏のイメージを一新するヴィルトゥオーゾ(名手)たちの至芸は、ますます磨きがかかり、各方面から絶賛されています。

浜松出身の演奏家シリーズ

水船桂太郎 テノールリサイタル 7月16日(金)

テノールの水船桂太郎は、浜松学芸高校音楽科・国立音楽大学卒業後、音楽教師を経てバリトンから転向し、イタリア留学で獲得した輝かしい歌声で、TVやコンサートで大活躍中です。9月には二期会の「蝶々夫人」のピンカー-tonに抜擢され、大成功を収めました。日本の声楽界で現在最も期待されている彼の、浜松での初リサイタルです。どうぞお楽しみに！

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。